

取り付け

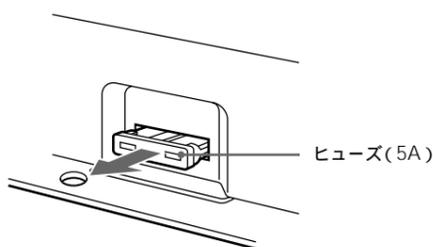
ご注意

設置上のご注意

- 本機は12ボルトマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24ボルト車では使えません。
- 次のような場所への取り付けはお避けください。
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
 - 雨が吹き込んだり、水がかかったりする場所や湿気の多いところ
 - ほこりの多いところ
- 運転の妨げにならない場所で、同乗者に危険がおよばない場所を選んで取り付けてください。

ヒューズの取り換えかた

ショートしたときや本機に故障があるときは、ヒューズが切れ、本機に過大電流が流れることを防ぎます。ヒューズが切れた場合は、電源コードとアースコードの接続を再確認してからヒューズを交換してください。交換したあともすぐ切れる場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。



ご注意

指定のアンペア数のヒューズ以外はお使いにならないでください。故障の原因になります。

取り付け

- 運転の妨げにならない場所で、同乗者に危険がおよばない場所を選んで取り付けください。
- シートの下またはトランクルームに取り付けてください。

ビスで固定する

十分な厚み(14mm以上)の取り付け板をご用意ください。

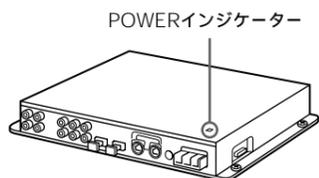
1 本機を取り付け板に置き、ネジを取り付ける位置に印をつける。

2 印の位置にドリルで3mm以内の穴をあける。

3 ネジ⑤で止め、固定する。

取り付けと接続が終わったら

- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどすべての電装品が正しく動作することを必ず確認してください。
- マスターユニットのリセットボタンを押してください。くわしくはマスターユニットの説明書をご覧ください。
- マスターユニットの電源を入れると本機のPOWERインジケーターが点灯します。



接続

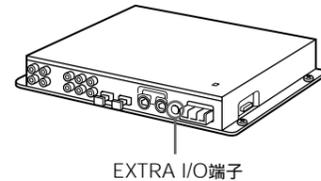
ご注意

- 作業中のショート事故防止のため、接続をするときはバッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとこれらのコンピューターメモリーの内容がすべて消えてしまうことがあります。このような車では、バッテリーのマイナス端子を外さずに電源コード以外の接続をしてから、最後に電源コードの接続をするようにしてください。

EXTRA I/O端子について

EXTRA I/O端子は故障診断用の端子ですので、何も接続しないでください。



光ケーブル(別売りのRC-97/98など)を接続する

光ケーブルの取り扱いについて

光ケーブルを使って接続をする場合は、以下の点にご注意ください。

- 半径5cm以下になるまで曲げないでください。音が途切れることがあります。
- 配線するときはケーブルが周囲の物に押しつぶされたり、締め付けられないようにしてください。
- カプラー部分を傷つけたり、汚したりしないでください。

光ケーブルの接続

1 光ケーブルの保護チューブをはずす。

カプラー部分には触れないでください。

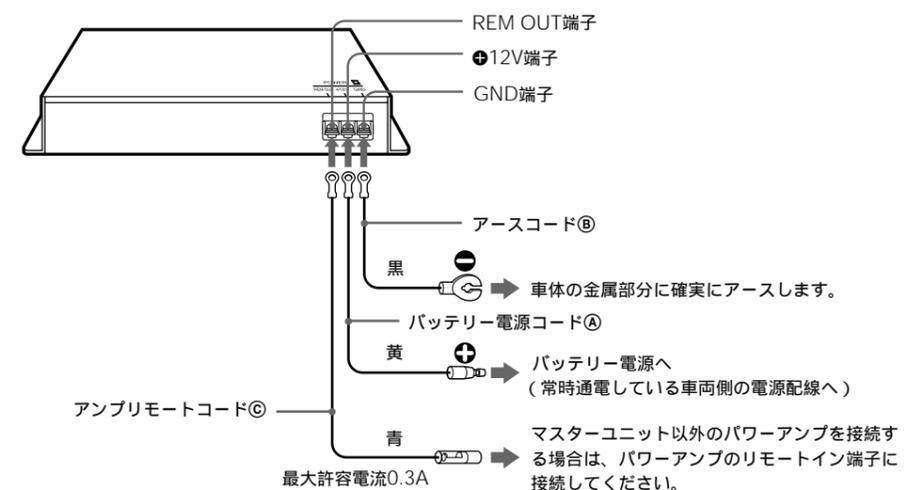
2 保護キャップをはずし、光ケーブルを接続する。

保護キャップ (必ず保管してください。)

ご注意

- 光ケーブルによっては本機に適合しないこともあります。光ケーブルは必ずソニーカーオーディオ用のRC-97/98などをご使用ください。
- 光ケーブルを接続するときは、コネクタ両側のロックを確実に差し込んでください。取りはずすときは、コネクタの両端をささむようにして軽く持つだけではずれます。
- 光ケーブルを接続しないときには、本機に保護キャップを必ず取り付けおいてください。

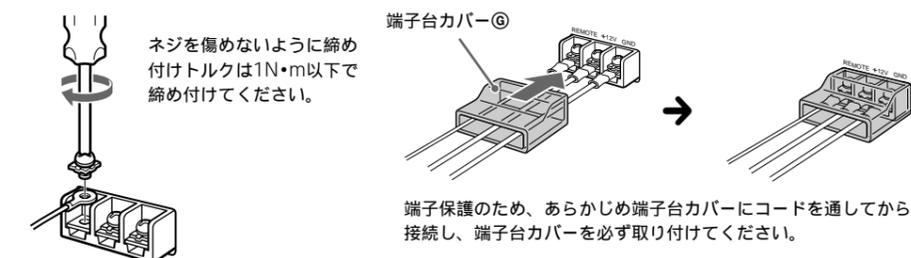
電源コードの接続



ご注意

- 黄色の電源コードはすべての接続をすませてから、一番最後に接続してください。
- 車のバッテリーから直接電源をとる(車のバッテリーから直接、電源端子の「+12V」端子に配線する)場合は、使用する配線コードは太さ16ゲージ(AWG-16、断面積1.25mm²)以上のコードを使用し、可能なかぎりバッテリーに近い位置に必ずヒューズ(5A以上)を配置してください。

コードの接続は下図のようにします



警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

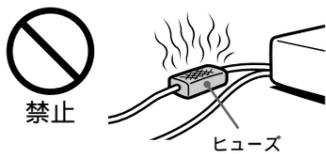
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

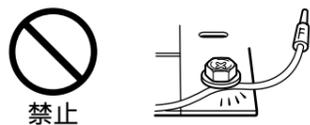
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

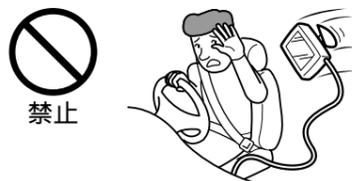
本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



デジタルイコライザー プリアンプ

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

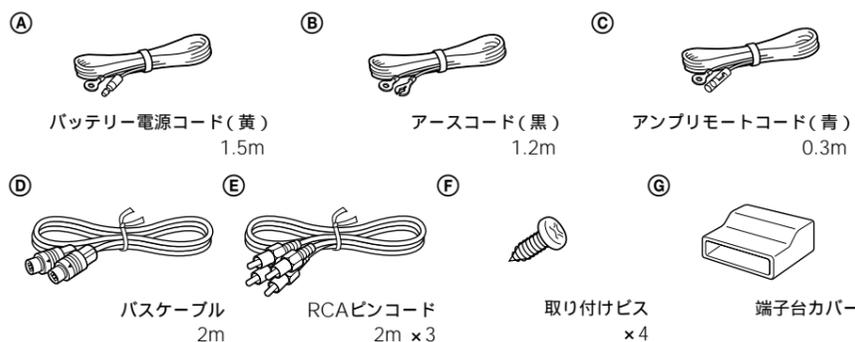
取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XDP-210EQ

Sony Corporation © 1998 Printed in Japan

取り付け/接続部品



別売りアクセサリ

- バスケーブル(RCAピンコード付属) RC-61(1m) RC-62(2m)
- RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m) RC-65(5m)
- 光ケーブル RC-97(2m) RC-98(5m)

別売り品

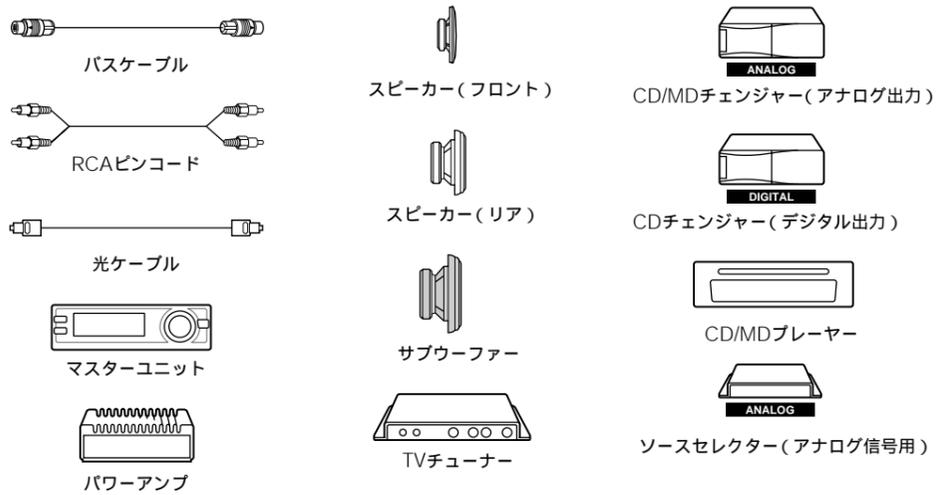
- マスターユニット(DSPコントロール対応) CDX-C9000、MDX-C8000、XR-C7000など
- CDチェンジャー(アナログ出力) CDX-715、CDX-T605、CDX-T602など
- CDチェンジャー(デジタル出力) CDX-805など
- MDチェンジャーMDX-62、MDX-61Gなど
- CD/MDプレーヤー CDX-310、MDX-410など
- ソースセレクター XA-C30など
- TVチューナー XT-40Vなど
- パワーアンプ XMシリーズ各種
- スピーカー XSシリーズ各種

ご注意

XDP-U50DまたはXDP-U50DMK2を本機と接続すると本機は機能しなくなります。

接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続例のイラスト表示について(別売り品)

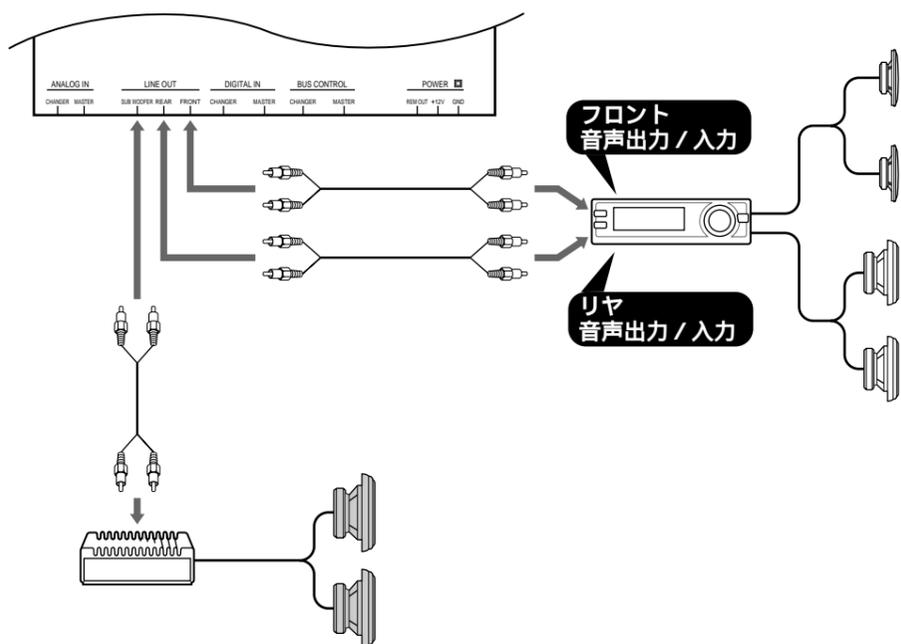


接続例番号	1	2	3	4	5	6	7	8
拡張ユニット								
ANALOG								
DIGITAL								
ANALOG								
ANALOG								
ANALOG								
ANALOG								

パワーアンプの接続

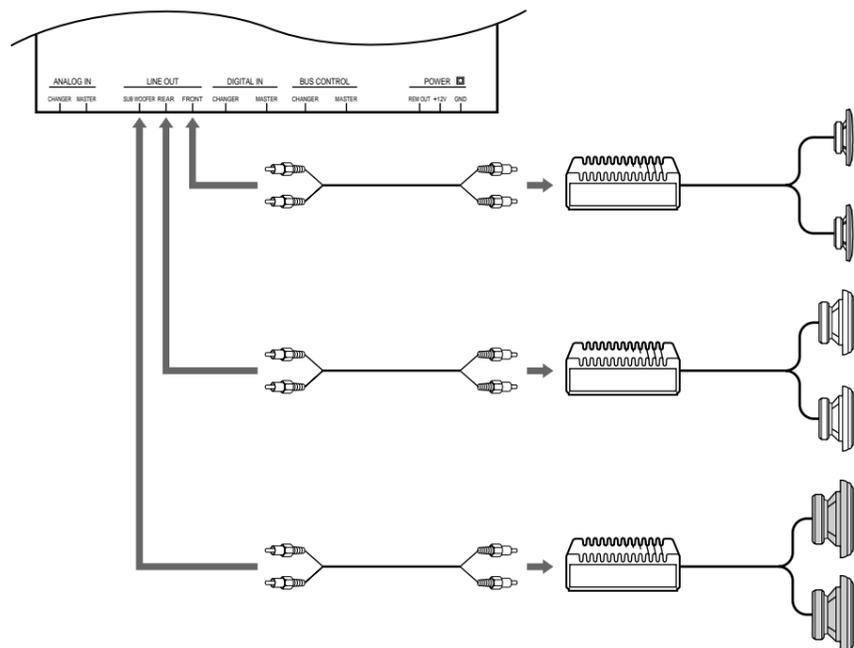
マスターユニットの内蔵アンプに接続する

マスターユニットの内蔵アンプを利用する場合、マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチのついている機種ではスイッチを必ず②の位置にしてください。①の位置でお使いになると、ボリュームが最大値付近で固定されたままで調節できません。

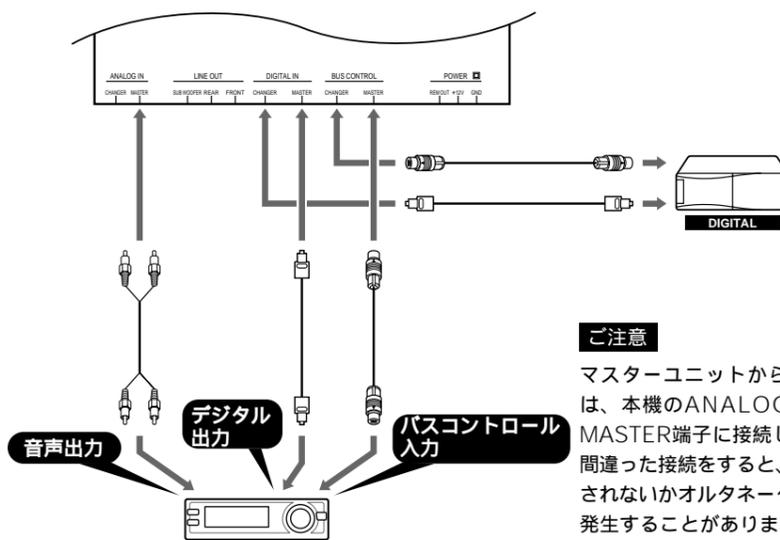


外部アンプを接続する

本機にはデジタルボリュームが使用されていますので、接続しているマスターユニットのボリュームを極端に下げた場合、音質が低下することがあります。これを防ぐため、外部アンプを接続するときに、外部アンプ側で入力レベルの調節ができる機種では入力レベルを調整、ボリュームを極端に下げない状態で使用するようしてください。



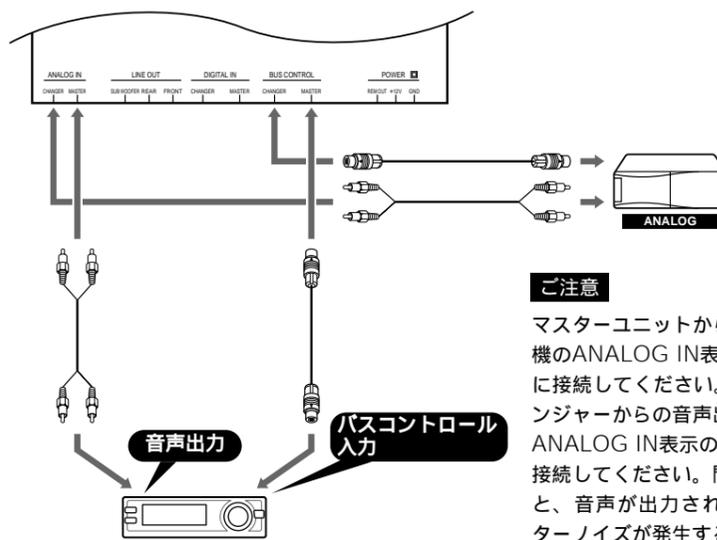
例1 デジタル出力のCDチェンジャーと接続する



ご注意

マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

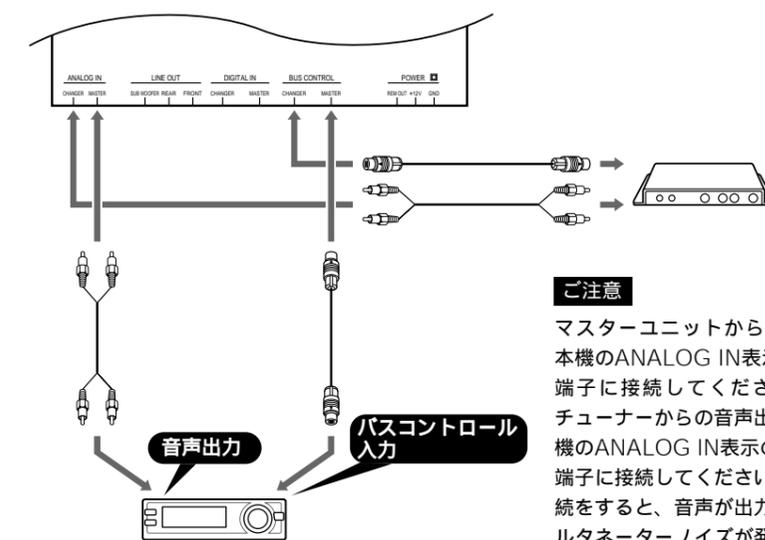
例2 アナログ出力のCD/MDチェンジャーと接続する



ご注意

マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またCD/MDチェンジャーからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

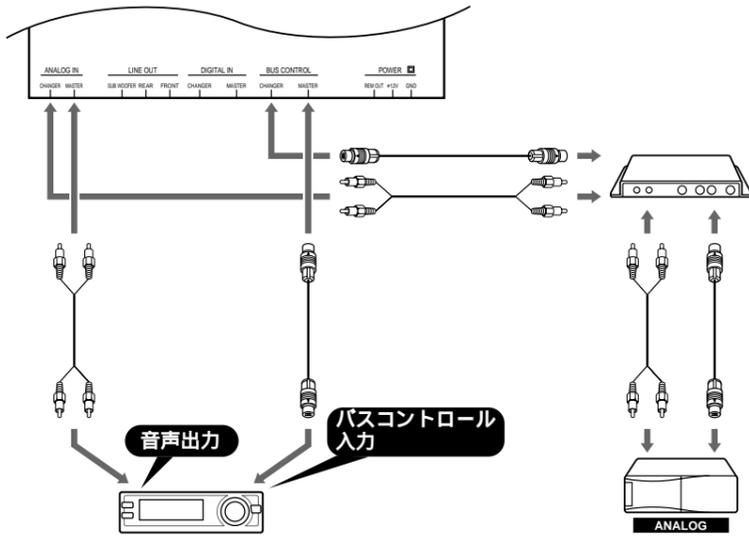
例3 TVチューナーと接続する



ご注意

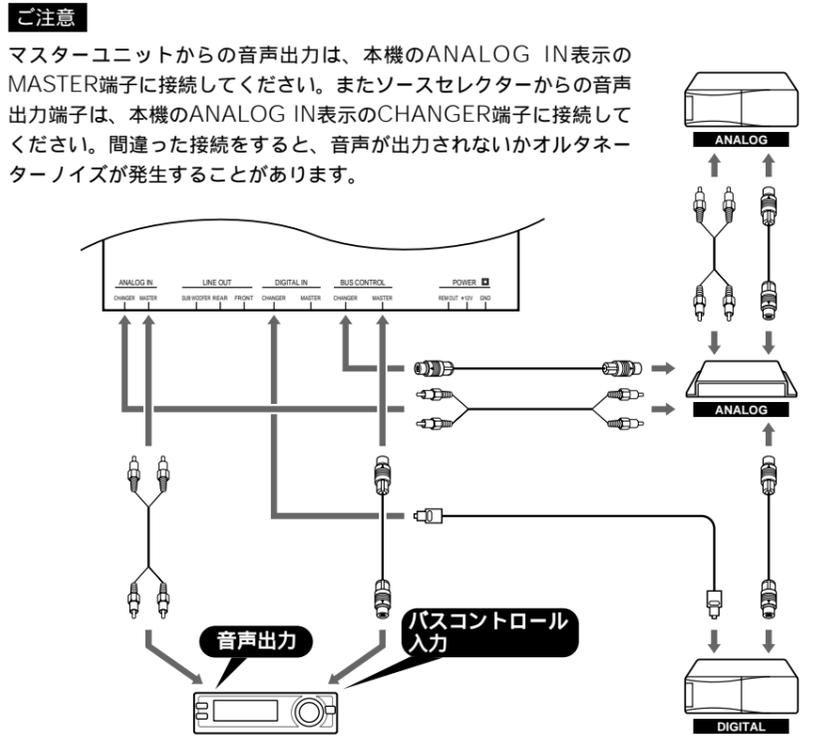
マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またTVチューナーからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

例4 TVチューナーとアナログ出力のCD/MDチェンジャーを接続する



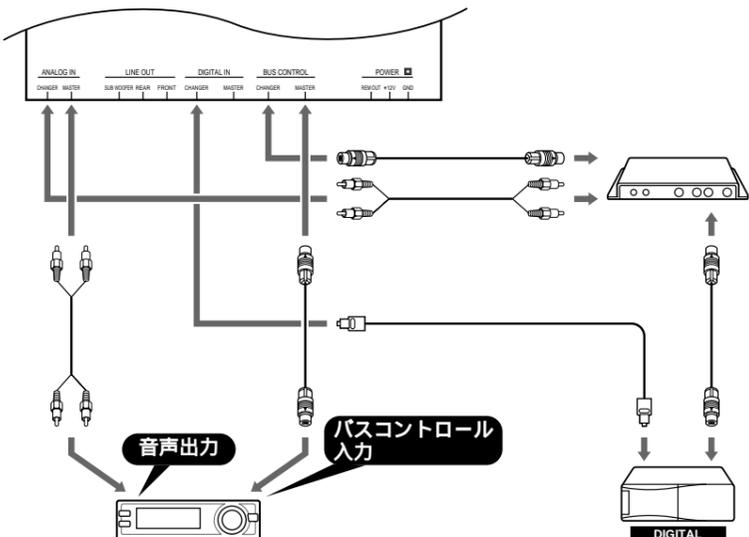
ご注意
 マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またTVチューナーからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

例7 デジタル出力のCDチェンジャーとアナログ出力のCD/MDチェンジャーを接続するとき



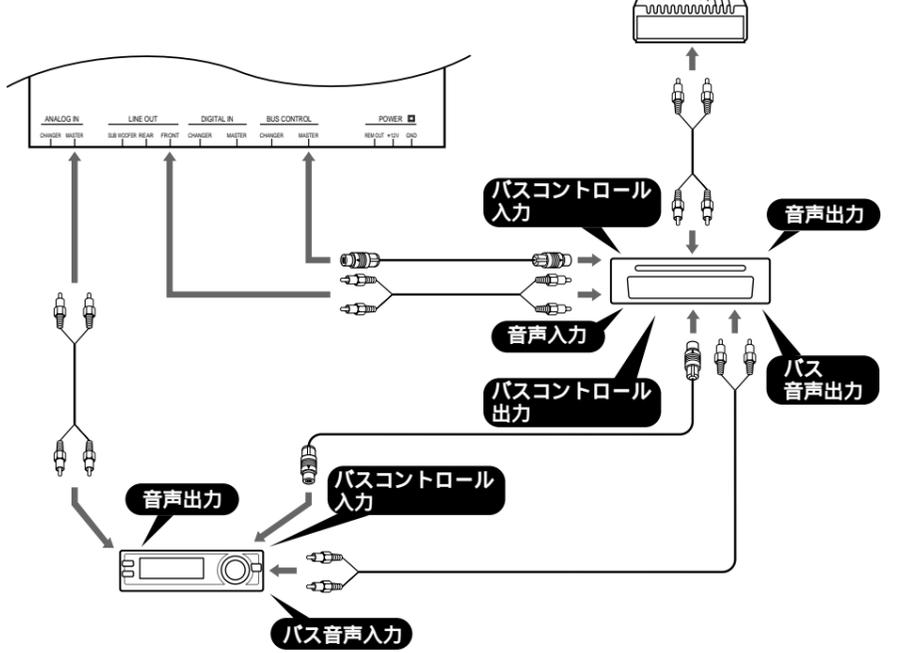
ご注意
 マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またソースセクターからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

例5 TVチューナーとデジタル出力のCDチェンジャーを接続する



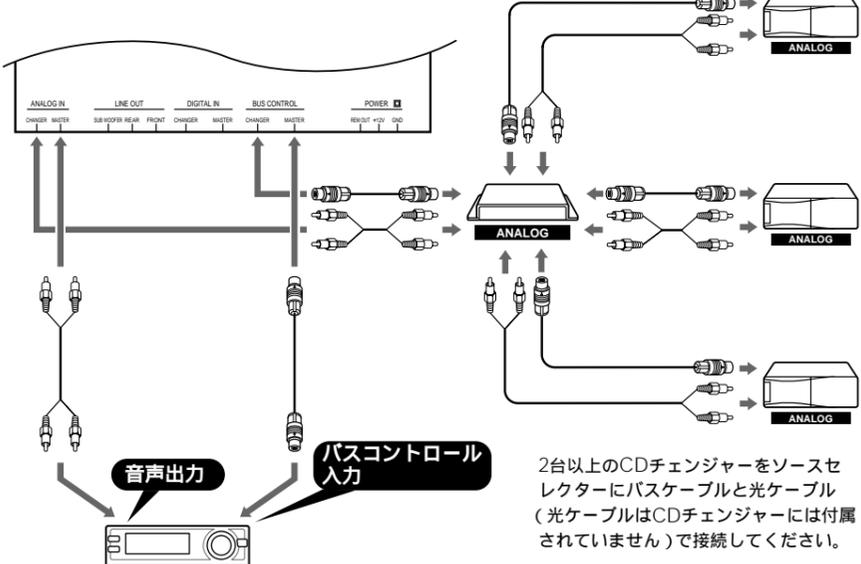
ご注意
 マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またTVチューナーからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

例8 CD/MDプレーヤーと接続する



ご注意
 本機を接続すると、CD/MDプレーヤーのイコライザーは動作しません。

例6 アナログ出力のCDチェンジャーを2台以上接続する



2台以上のCDチェンジャーをソースセクターにバスケーブルと光ケーブル（光ケーブルはCDチェンジャーには付属されていません）で接続してください。

ご注意
 マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またソースセクターからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。